



本事業について

新潟大学医学部医学科・大学院医歯学総合研究科

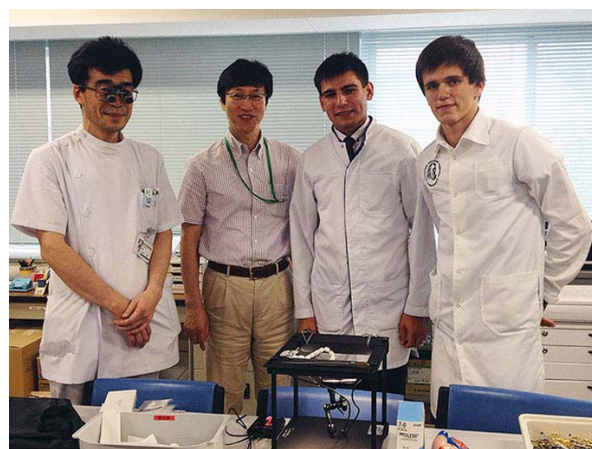
新潟発・グローバル教育への挑戦

－ G-MedEx : Globalization and Medical Exchange Project －

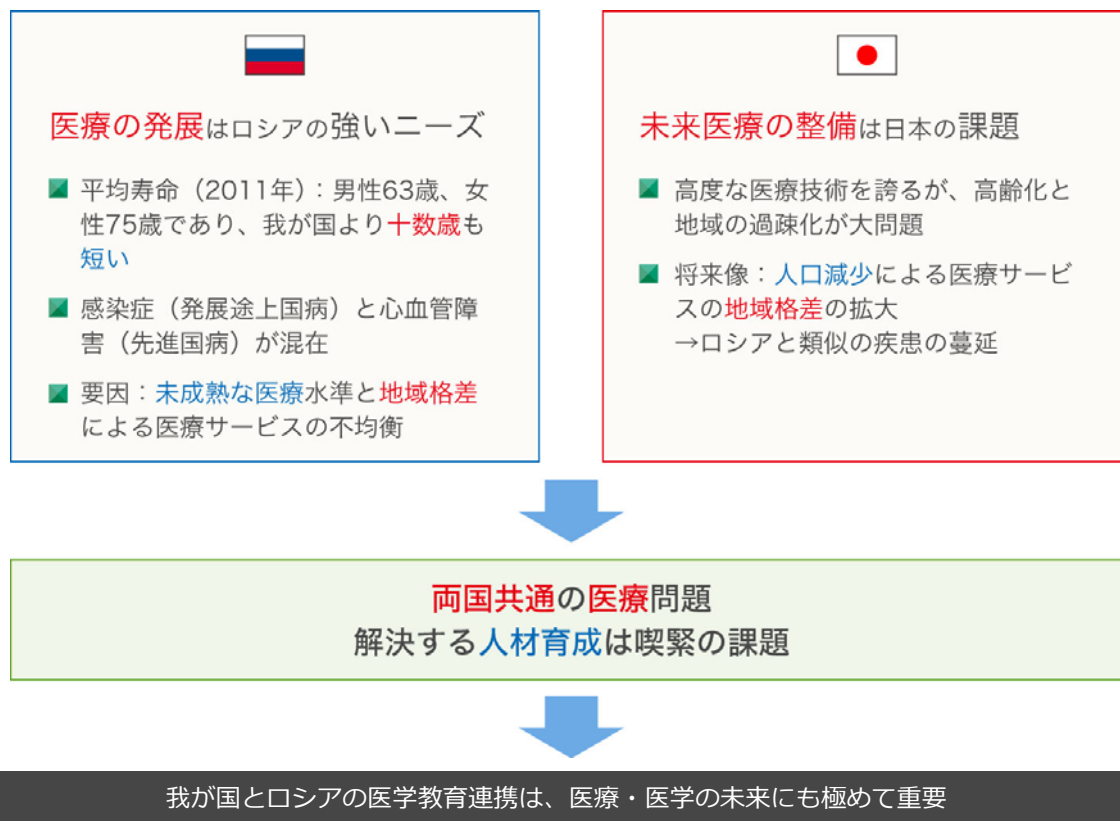


日露の経済・産業発展に資する グローバル医療人材育成フレームワークの構築

新潟大学の日露医学交流の歴史は、25年以上に渡ります。グローバル教育への挑戦として新潟大学が新たに取り組むプロジェクトでは、従来の医学生交流を飛躍的に発展させるのみならず、特徴あるダブルディグリープログラムをはじめとした種々の大学院教育の設置など、多層的かつ総合的なプログラム・コースを企画し、強力に推し進めます。使用言語をすべて英語とし、個々の学生の専門と希望に沿った教育・研究活動を後押しすることで、広い視野と豊富な国際経験に裏打ちされた優秀な人材を育て、国際舞台へと送り出します。



本事業の背景



本事業の目的 新潟とロシアの関係と養成する人材像

ロシア総領事館があり、
歴史的に日露友好の玄関口である新潟



■ 距離的に近い極東ロシアと新潟

- ① 新潟大学
- ② クラスノヤルスク医科大学 (クラスノヤルスク)
- ③ 極東医科大学 (ハバロフスク)
- ④ パシフィック医科大学 (ウラジオストク)
- ⑤ 北東連邦大学 (ヤクーツク)
- ⑥ カザン連邦大学 (カザン)
- ⑦ サントペテルブルク大学 (サントペテルブルク)
- ⑧ モスクワ国立大学 (モスクワ)
- ⑨ カザン医科大学 (カザン)
- ⑩ セチエノフモスクワ国立第一医科大学 (モスクワ)

学部間協定に基づいた25年を超える双方向の日

露医学国際交流

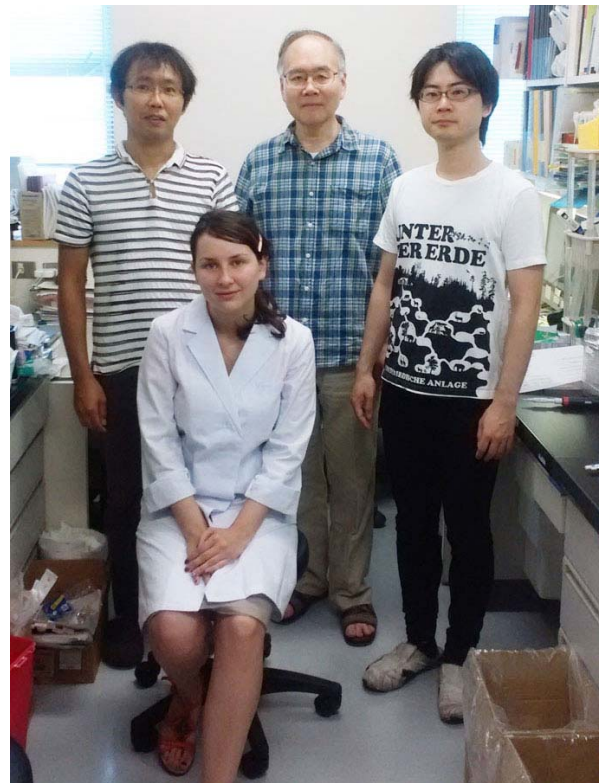
320名以上の医学生の行き来・約70名の医師や
看護師の受入

- ・ロシア医療・医学教育事情の把握
- ・極東ロシアとの強い人的ネットワーク

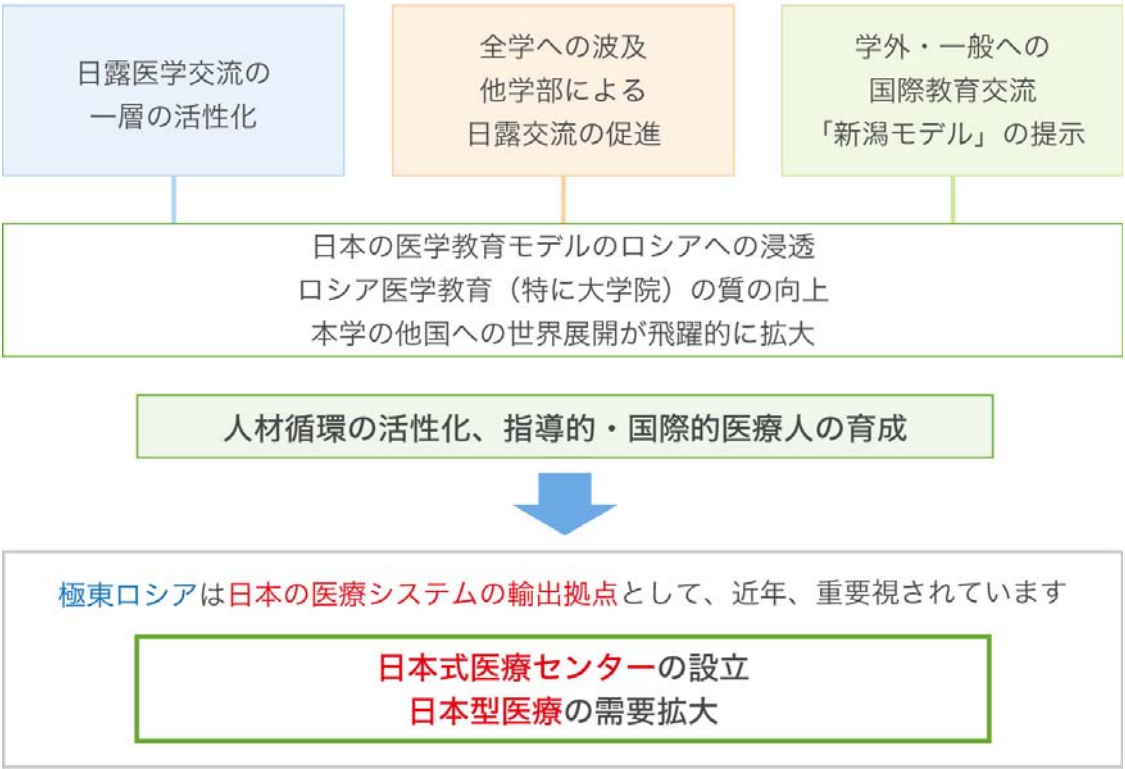


日露の新しい「医学教育フレームワーク」の構築

日露の架け橋として両国の医療を発展させ、
世界の医学の進歩に資する「グローバル医療人」の養成



本事業で培ったノウハウと成果を波及 ◀ 統括センターの維持と強化



我が国の医療・産業の発展を大きく加速

日露の医学・医療の発展、新潟の経済・産業の活性化



1. 設立の背景

新潟大学医学部は、四半世紀にわたりロシアの極東地域を中心とした3つの医科大学（クラスノヤルスク医科大学、極東医科大学、パシフィック医科大学）と多数の医学生・大学院生の相互派遣や医師・看護師の受入を行ってきました。

それらの実績をベースに、平成26年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に新潟大学の「日露の経済・産業発展に資するグローバル医療人材育成フレームワークの構築」プロジェクトが採択されました。日本政府からの支援を受けながら、多層的なプログラムを実施し、日露医学生交流を活性化させるとともに、教員間の研究交流も促進しています。ロシア側パートナー校は当初の3校からロシア全土の8校に拡大し、人的交流もさらに拡大しています（これまでの医学生・大学院生の相互派遣実績は約320名、医師・看護師等の受け入れは約70名）。

さらに、平成29年度、新潟大学は「大学の世界展開力強化事業」（ロシア・プラットフォーム構築プログラム）に、北海道大学を代表校として共同で採択を受けました。本構想の目指すところは、平成28年の日露首脳会談で提示された「ロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プラン」の8項目における日露の教育研究交流の拡大と発展に資する人材育成を推進するための基盤形成です。新潟大学は、上記プランに応じて関係大学で形成される「医療健康セクション」のリーダー校として日露の医療健康分野の発展に資する高度人材育成を推進することとしています。

加えてこのたび、日露の医学医療の発展・新潟の経済発展等のために総合的な支援を行う枠組みとして、新潟地域の産・官・金・学の連携により「日露医学医療交流コンソーシアムにいがた」を形成いたしました。

2. 設立の目的

「日露医学医療交流コンソーシアムにいがた」は、新潟地域の企業、金融機関、自治体、関係機関等と新潟大学の相互連携により、医学生・医師・研究者らの人材育成活動を含めた日露の医学医療交流を通じて、両国の医療の発展、産業・技術の革新や、地域の発展に貢献することを目的とします。

3. コンソーシアムを形成する機関・団体（順不同 令和3年1月13日現在）

- ▶ 新潟大学（幹事機関）
- ▶ 新潟県
- ▶ 新潟市
- ▶ 公益財団法人環日本海経済研究所
- ▶ 株式会社第四北越銀行
- ▶ 愛宕商事株式会社